

<マニュアル訂正連絡票>

ASP TELNET 説明書 V13

[J2K0-0162-01]

2005年4月1日発行

修正箇所(章節項): 4.2 起動

旧記事

4.2 起動

ここでは、TELNET サーバの起動方法を説明する。STRTLNTS(Start TELNET Server)コマンドで、TELNET サーバが起動され、TELNET 端末からの接続要求を受け付ける。以下に、STRTLNTS コマンドについて説明する。

記述形式

コマンド	オペラント
STRTLNTS	[TNMAX-0又は接続数] [,CODE-@NO又は@EUC又は@SJIS又は@ASCII] [,CHRMODE-@NCHR又は@SLETTER] [,FRM-@NONE又は固定フレーム名] [,VSIZE-3又は仮想記憶領域サイズ] [,RSIZE-4又は実記憶領域サイズ] [,PTY-1又は実行優先度]

実行条件

このコマンドを使用する場合は、プロフィールに@SYSCTL 権を与えておく必要がある。

オペラントの説明

TNMAX

TELNET 端末の最大接続数を、0～9999 の範囲で指定する。ただし、WKSTN 種別が TELNET 型や WEBJET 型である装置記述の定義数がこのパラメタの値よりも少ない場合、最大接続数は装置記述の定義数に依存する。0 を指定した場合、カスタマイズ情報の接続数と装置記述の定義数を比較し、小さい方を採用する。

CODE

TELNET モード端末から入力する文字コード系を指定する。省略すると、@NO を指定したものとみなされ、サインオン時にコード系選択画面が表示される。

@NO

TELNET モード端末接続時にコード系選択画面が表示され、端末側の文字コード系を選択させる。

@EUC

全 TELNET モード端末から入力する文字コード系を EUC とみなす。

@SJIS

全 TELNET モード端末から入力する文字コード系を JIS8 単位コード系+シフト JIS とみなす。

@ASCII

全 TELNET モード端末から入力する文字コード系を ASCII とみなす。

CHRMODE

TELNET モード端末接続時における 1 バイト文字コード系の入力モードを指定する。CODE パラメタで@EUC、及び@SJIS を指定した場合だけ有効である。

@NCHR

カナ文字入力とみなす.

@SLETTER

英小文字入力とみなす.

FRM

システムバックグラウンドジョブを, 特定の固定フレーム上で実行するか, 一時フレーム上で実行するかを指定する.

@NONE

一時フレーム上で実行する.

固定フレーム名

固定フレームで実行する.

VSIZE

TELNET サーバが動作するために必要なフレームの仮想記憶領域の大きさを, 3~6 の範囲で指定する. TELNET サーバが固定フレーム上で実行される場合には指定しても無視される. 表 4.1 に, 指定する値と仮想記憶領域の大きさの関係を示す.

表 4.1 指定する値と仮想記憶領域の大きさの関係

指定する値	仮想記憶領域の大きさ
3	256K バイト
4	512K バイト
5	1024K バイト
6	2048K バイト

RSIZE

TELNET サーバが使用する実記憶領域の大きさを, 16K バイト単位で 1~16 の範囲で指定する. TELNET サーバが常駐フレーム又は固定フレーム上で実行される場合には指定しても無視される.

PTY

TELNET サーバの実行優先度を指定する. 実行優先度を 1~8 の範囲で指定する. 値が小さいほど優先度が高い.

注意事項

TELNET モード端末では, SETDSPC コマンドは無効である. コード系の指定は, CODE, 及び CHRMODE だけで有効である.

例

STRTLNNTS

TELNET サーバを起動する.

新記事

4.2 起動

ここでは, TELNET サーバの起動方法を説明する. STRTLNNTS(Start TELNET Server)コマンドで, TELNET サーバが起動され, TELNET 端末からの接続要求を受け付ける. 以下に, STRTLNNTS コマンドについて説明する.

記述形式

コマンド	オペランド
STRTLNNTS	[TNMAX_0又は接続数] [CODE_@NO又は@EUC又は@SJIS又は@ASCII] [CHRMODE_@NCHR又は@SLETTER] [FRM_@NONE又は固定フレーム名] [VSIZE_3又は仮想記憶領域サイズ] [RSIZE_4又は実記憶領域サイズ] [PTY_1又は実行優先度]

実行条件

このコマンドを使用する場合は、プロフィールに@SYSCTL 権を与えておく必要がある。

オペランドの説明

TNMAX

TELNET 端末の最大接続数を、0～9999 の範囲で指定する。ただし、WKSTN 種別が TELNET 型や WEBJET 型である装置記述の定義数がこのパラメタの値よりも少ない場合、最大接続数は装置記述の定義数に依存する。0 を指定した場合、カスタマイズ情報の接続数と装置記述の定義数を比較し、小さい方を採用する。

CODE

TELNET モード端末から入力する文字コード系を指定する。省略すると、@NO を指定したものとみなされ、サインオン時にコード系選択画面が表示される。

@NO

TELNET モード端末接続時にコード系選択画面が表示され、端末側の文字コード系を選択させる。

@EUC

全 TELNET モード端末から入力する文字コード系を EUC とみなす。

@SJIS

全 TELNET モード端末から入力する文字コード系を JIS8 単位コード系+シフト JIS とみなす。

@ASCII

全 TELNET モード端末から入力する文字コード系を ASCII とみなす。

CHRMODE

TELNET モード端末接続時における 1 バイト文字コード系の入力モードを指定する。CODE パラメタで@EUC、及び@SJIS を指定した場合だけ有効である。

@NCHR

カナ文字入力とみなす。

@SLETTER

英小文字入力とみなす。

FRM

システムバックグラウンドジョブを、特定の固定フレーム上で実行するか、一時フレーム上で実行するかを指定する。

@NONE

一時フレーム上で実行する。

固定フレーム名

固定フレームで実行する。

VSIZE

TELNET サーバが動作するために必要なフレームの仮想記憶領域の大きさを、3～6 の範囲で指定する。TELNET サーバが固定フレーム上で実行される場合には指定しても無視される。VSIZE の目安は Webjet 型の装置記述数が 400 までは 3 以上、装置記述数 900 までは 4 以上とする。表 4.1 に、指定する値と仮想記憶領域の大きさの関係を示す。表 4.1 指定する値と仮想記憶領域の大きさの関係

指定する値	仮想記憶領域の大きさ
3	256K バイト
4	512K バイト
5	1024K バイト
6	2048K バイト

RSIZE

TELNET サーバが使用する実記憶領域の大きさを、16K バイト単位で 1～16 の範囲で指定する。TELNET サーバが常駐フレーム又は固定フレーム上で実行される場合には指定しても無視される。

PTY

TELNET サーバの実行優先度を指定する。実行優先度を 1~8 の範囲で指定する。値が小さいほど優先度が高い。

注意事項

TELNET モード端末では、SETDSPC コマンドは無効である。コード系の指定は、CODE、及び CHRMODE だけで有効である。

例

```
STRILNTS
```

TELNET サーバを起動する。

2000 年 1 月 4 日発行

修正箇所 (章節項): P20/下 9 行 注 3) / 第 4 章 起動/停止 4.1 TELNET サーバの運用手順 注 3)

旧記事

TELNET 端末との接続後、TELNET サーバを停止すると、一定時間(数分程度)再起動できない。すぐに再起動したい場合は、NSS の対応するリンクを一度非活性化し再度活性化した後、再起動する。

新記事

TELNET 端末との接続後、TELNET サーバを停止すると、'S5277 TELNET サーバでエラーが発生した' (原因コード 15) が出力され、一定時間(一分以上)再起動できない。すぐに再起動したい場合は、NSS の対応するリンクを一度非活性化し再度活性化した後、再起動する。

以上